

2025年10月1日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および
K P I 実績値の公表について

- 当組合は、「まごころのおつきあい」をキーワードに「愛され 親しまれ 信頼される J A」という経営理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者（以下、お客さま）の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客さま本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（J A 共済連）が、共同で事業運営しております。

秋川農業協同組合

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 金融商品

【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3、6、7)補充原則1～5本文および(注)】

- お客さまに提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えできるものを選定します。
- また、当該商品を組成する投資運用会社については、プロダクトガバナンスの実効性が確保されていることを確認のうえ選定します。
- 製販全体でお客さまの最善の利益を実現するため、JAバンク全体として、金融商品を購入したお客さまの属性および販売状況に関する情報等を投資運用会社に提供するなど情報連携を行います。
- なお当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2025年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：0)	4 (前年度末：0)
株式型	3 (前年度末：0)	5 (前年度末：0)
REIT型	1 (前年度末：0)	2 (前年度末：0)
バランス型	7 (前年度末：0)	

<商品選定の考え方>

1. 長期投資を前提とした投資信託であること
2. 手数料が良心的な水準であること
3. 過去の運用実績が相対的に良好であること
4. 資産形成層には過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと
5. 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、
原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

- お客さまが、生活や農業を取り巻く様々なリスクに対して、安心して備えられるよう、最良・最適な共済仕組み・サービスを提供します。
- なお、当組合は、投資性金融商品の組成および市場リスクを有する共済仕組み（例：外貨建て共済）の提供は実施しておりません。
- 共済事業については、全共連と共同で事業運営を実施しており、お客さまの声や実際に販売した顧客情報等について相互に連携しております。

I.取組状況

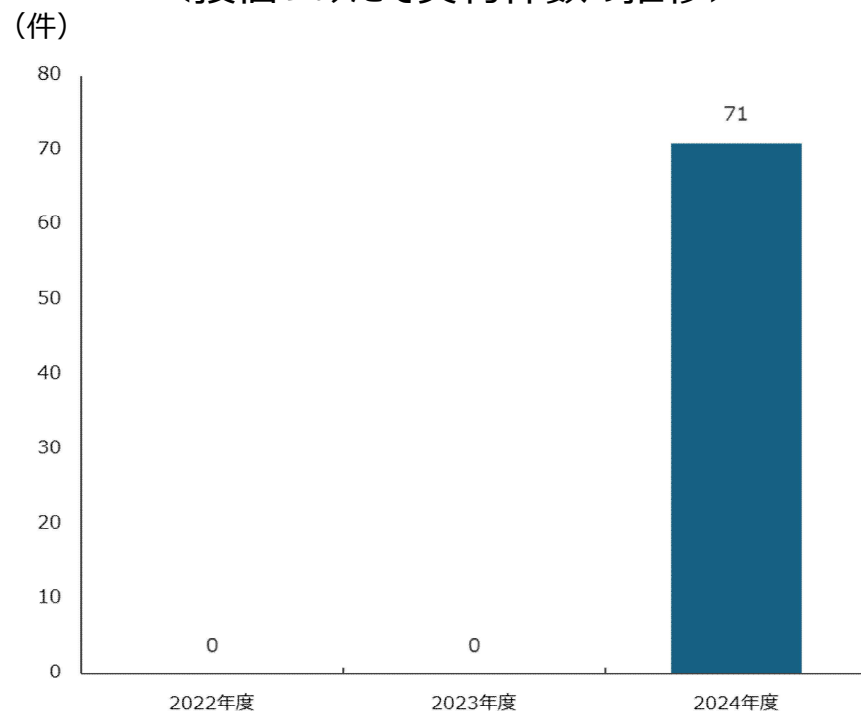
2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、
原則6本文および(注1～7)】

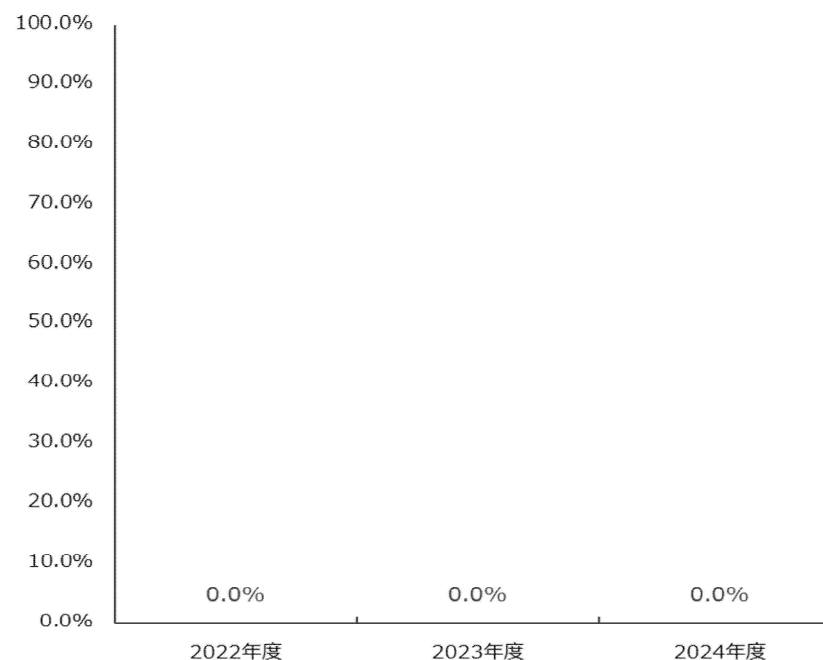
(1) 信用の事業活動

- お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて、お客様にふさわしい商品をご提案し、属性・適合性を判断したうえで販売した結果、「投信つみたて」を71件ご契約いただきました。また「毎月分配型ファンド」の実績はありません。
- 2024年度より取扱い開始の為、2023年度以前の契約はありません。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③ 【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

- お客さまに対して、各種公的保険制度等にかかる情報提供を行い、一人ひとりの加入目的・ライフプラン等に応じた、最適な保障・サービスをご提案します。
- 保障の加入にあたっては、お客さまのご意向を的確に把握・確認したうえで、保障内容をご理解・ご納得いただけるよう、丁寧な意向把握・重要事項説明を実施します。

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および（注）】

- お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、金融商品の販売・推奨や共済仕組みの提案・契約等において、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理します。

4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

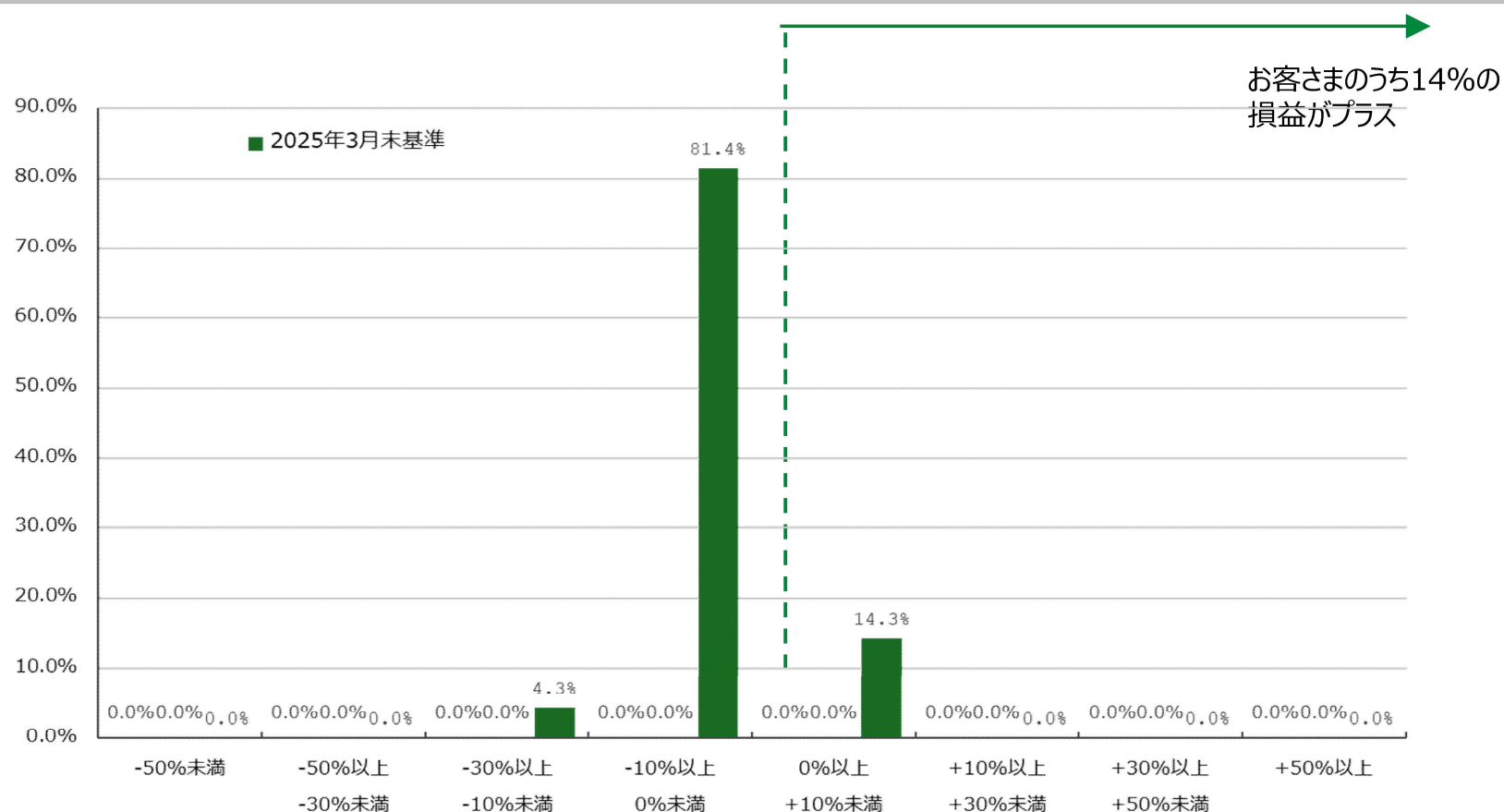
- お客さまの信頼を獲得し、満足いただける金融商品・仕組み・サービスを提供できるよう、職員の継続的・定期的な研修を実施するとともに、資格取得の支援等に取り組めます。
- また、お客さまからいただいた「声（お問合せ・ご相談、ご要望、苦情など）」を誠実に受け止め、業務改善に取り組むとともに、お客さまに対して、最良・最適な金融商品・仕組み・サービスを提供できるよう、継続的に職員育成を行う態勢を構築します。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 当組合では2024年4月から投資信託の取扱いを開始し、長期・分散・つみたて投資をご提案してきました。2025年3月末時点では、米国の関税政策を巡る不透明感などから、市場が下落した影響を受けつつも、全体の14%のお客さまの運用損益がプラスとなっております。

※運用損益…投資信託の現在の時価評価額、これまでの受取金額（分配金・一部解約）のトータルの金額から、購入した金額の合計（投資金額）を差し引いて算出したもの

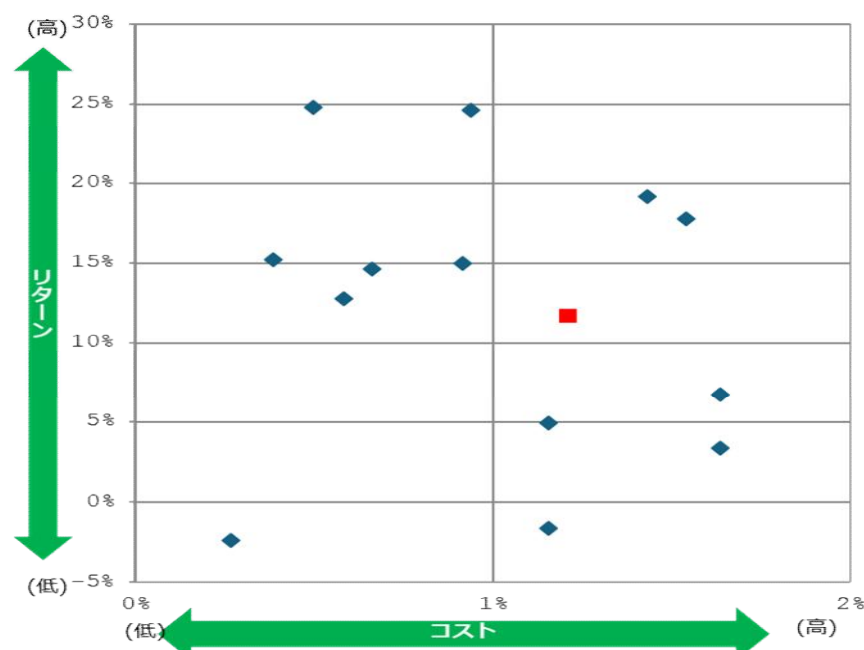


Ⅱ.比較可能な共通K P I

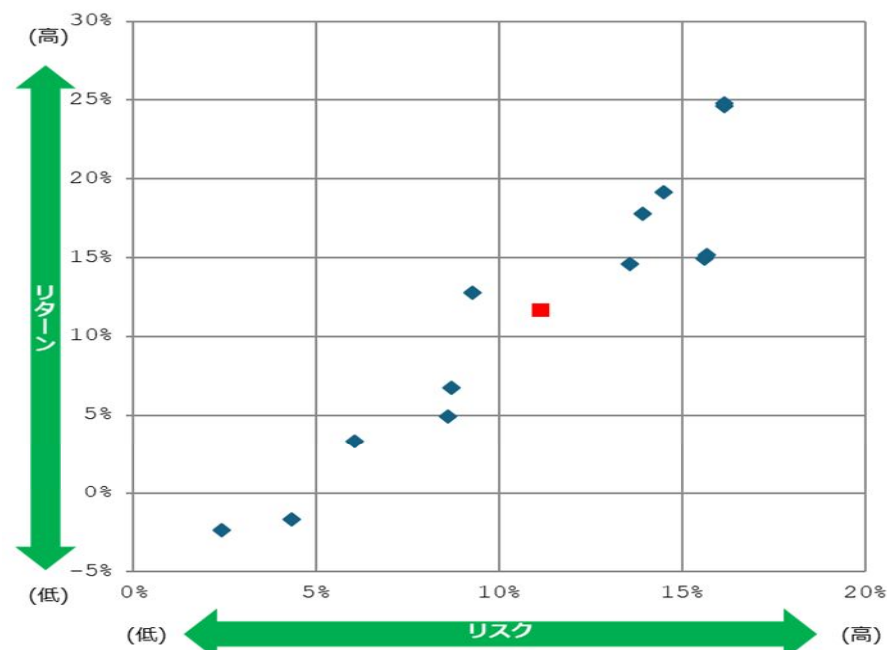
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2025年3月末)

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.21%、平均リスク11.14%に対して、平均リターンは11.69%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	6.76%	8.71%	1.63%
2	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.93%	8.59%	1.16%
3	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	19.14%	14.48%	1.43%
4	おおぶねグローバル(長期厳選)	農林中金バリューインベストメンツ(株)	14.63%	13.58%	0.66%
5	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.62%	16.15%	0.94%
6	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	3.35%	6.05%	1.63%
7	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.66%	4.34%	1.16%
8	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	17.77%	13.93%	1.54%
9	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.77%	16.16%	0.50%
10	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.19%	15.67%	0.39%
11	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-2.36%	2.41%	0.26%
12	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.96%	15.62%	0.91%
13	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	12.76%	9.29%	0.58%
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		11.69%	11.14%	1.21%

※ 2025年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は13本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。